

# 兼常清佐

萩が生んだ音楽界の奇才

開催期間

2015  
**10.31** ± ~ **11.15** 日

関連図書展示・パネル展示



関連イベント

**10.31** ± 10:00 ~ 萩図書館 2 階

「萩市市歌」合唱 (昭和 9 年制定) **Fiore Hagi** (萩高合唱部 OG)

講演会

「萩時代の兼常清佐」10:30 ~ 11:30

講師

**蒲生美津子氏** (沖縄県立芸術大学名誉教授)

**11.7** ± 13:30 ~ 15:00 萩図書館 2 階

講演会

「兼常清佐 余話」・ギャラリートーク

**三好健二氏** (萩まちじゅう博物館推進委員会土原部会長)

かねつねきよすけ

**兼常清佐**

明治 18 年 ~ 昭和 32 年 (1885 ~ 1957) 73 歳没

萩町 (現、萩市) 土原に生まれる。旧制萩中学校 (現、山口県立萩高等学校) から旧制山口高等学校 (山口大学の前身) を経て、京都帝国大学を卒業した。大正 3 年 (1914) 東京音楽学校 (現、東京芸術大学) の邦楽調査掛となり、日本各地の民謡や雅楽の調査に従事した。

大正 11 年 (1922) から 2 年間ドイツに留学し、ベルリン大学で西洋音楽を学んだ。帰国後、倉敷紡績社長大原孫三郎の援助を受け、労働科学研究所で音と音楽を研究した。『音楽巡礼』、『日本音楽と西洋音楽』などの多くの著作や論文を遺し、生涯を西洋と日本音楽の追及に没頭した。昭和 6 年 (1931) に萩中学校の寮歌、昭和 9 年には萩市市歌も作曲した。